

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：課長補佐
氏名：豊田 崇史

| | | | | |
|-----------------|---|--|---|---|
| 受入れ局課室名 | 研究振興局振興企画課 | | | |
| 募集学校種 ※短期コース | <input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small> |
| 募集学校種 ※長期コース | <input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small> |
| 受入れ期間 ※短期コース | 2月5日～3月9日 (上記期間中で1人につき、原則2週間) | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 1人 |
| 受入れ期間 ※長期コース | 2月5日～3月9日 (上記期間中で1人につき、3週間) | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 1人 |
| 選考時の面接の 実施予定 | 短期 コース <input type="checkbox"/> 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし | 長期 コース <input type="checkbox"/> 予定あり <input checked="" type="checkbox"/> 予定なし | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 受入れ条件 | 基本的なパソコン操作(Word,Excel)ができること。 | | | |
| 実習内容 | <p>【各系の業務補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類作成、データ分析作業 ・各種会議の資料準備、会場設営の補助及び傍聴 <p>【課題への施策提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各系の業務補助を通じ、研究振興局全体の業務の流れを把握していただくとともに、参加者自身が科学技術行政に関する研究テーマを設定し、調査研究を行うこととする。 ・調査研究を行うにあたっての職員との意見交換、成果発表の場を設けさせていただきます。 | | | |
| 受入れ局課室紹介 | <p>研究振興局は、基礎研究・学術研究の振興、ライフサイエンス、ナノテクノロジー及び情報科学技術などの分野別の研究開発の推進等を担当しています。</p> <p>振興企画課は、研究振興局の業務の取りまとめを担当するとともに、学術に関する基本政策の企画・立案、競争的資金に関する政策・施策の省内調整及び関係府省との連絡調整、日本学術振興会及び日本学士院の運営一般並びに発明及び実用新案の奨励に関する大臣表彰等に係る業務を行っています。幅広い業務を通じ、研究振興局の業務全体を把握することができます。</p> | | | |
| 受入れ局課室からの 一言 | 業務体験や職員との交流を通じて、文部科学省で働く具体的なイメージを持てるようになっていただきたいと思います。 意欲を持って学ぶ意志がある方の参加を歓迎します。 | | | |

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：課長補佐
氏名：長田有生

| | | | | |
|-----------------|---|--|---|---|
| 受入れ局課室名 | 研究振興局基礎研究振興課 | | | |
| 募集学校種 ※短期コース | <input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない |
| | (○がマークされている部分が希望学校種となります) | | | |
| 募集学校種 ※長期コース | <input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない |
| | (○がマークされている部分が希望学校種となります) | | | |
| 受入れ期間 ※短期コース | 2月12日～3月9日 (上記期間中で1人につき、原則2週間) | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 1人 |
| 受入れ期間 ※長期コース | 月 日～ 月 日 | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 人 |
| 選考時の面接の 実施予定 | 短期 コース <input type="checkbox"/> 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし | 長期 コース <input type="checkbox"/> 予定あり <input checked="" type="checkbox"/> 予定なし | | |
| 受入れ条件 | 基礎研究の振興に係る文部科学行政について、意欲を持って学びたいという意志がある方。Word・Excel等パソコンの基本操作ができる方。語学力(英語)をある程度有していることが望ましい。 | | | |
| 実習内容 | 当課の所掌(下記「受入局課(室)紹介等」を参照)に関連する各種業務の補助、会議の傍聴、資料収集等の実務を経験しつつ、以下に取組む(調査・分析等のテーマは参加者の希望を考慮して設定)。 ①戦略的な基礎研究の推進のための国内外の政策、評価システム等に関する事例や、基礎データ等の収集 ②収集した事例等の分析および課題の抽出 ③分析を踏まえ、より効果的に戦略的な基礎研究を推進するための方策等について、レポートを作成し、職員と意見交換を行う。 | | | |
| 受入れ局課室紹介 | ◆基礎研究振興課では、新たな知の源泉となりイノベーションの礎となる「基礎研究」に関する業務を担当しています。オープンイノベーションモデルの台頭などの世界の知識生産の潮流の変化が起きている今、経済(産業界)・社会(政治・国民)の期待にどう応えていくか。基礎研究に関する期待と実態のミスマッチに対し、アカデミア・産業界・金融などの多様な関係者にどう働きかけ、どのように改善を図っていくべきか。そんな問いの答えを探りながら、 ・組織・分野の枠を超えた最適なチームを構築してイノベーション指向の基礎研究を推進する「戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)」「(JST)や「革新的先端研究開発支援事業」(AMED) ・世界の頭脳を惹きつける「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」 ・問題に思いがけない解決を与える数理科学と諸科学・産業界との協働の推進 ・人類の叡智に挑戦する素粒子物理学の振興 ・日本が誇る世界最高峰の自然科学の総合研究所「理化学研究所」に関する施策を展開しています。 ◆文系・理系、研究所からの出向者など、多様なバックグラウンドを持ったメンバーが居ます。 ◆特定分野の専門知識は問いません。自ら責任を持って動き、国家レベルでの課題解決にチャレンジする意欲のある積極的な方の参加をお待ちしています。 | | | |
| 受入れ局課室からの 一言 | インターンシップを通じて文部科学省での仕事に対するイメージを具体的に持っていただけると思いますが、意欲のある皆様のご参加をお待ちしております。 | | | |
| 過去の参加者の声 | 頻繁に進捗確認で声をかけてくださった。 視察に行く道中など議論ができた。 | | | |

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：課長補佐
氏名：早田清宏

| | | | |
|-----------------|---|--|--|
| 受入れ局課室名 | 研究振興局学術機関課 | | |
| 募集学校種 ※短期コース | <input type="radio"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input type="radio"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small> |
| 募集学校種 ※長期コース | <input type="radio"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input type="radio"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small> |
| 受入れ期間 ※短期コース | 2月 5日～ 3月 9日 (上記期間中で1人につき、原則2週間) | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) 1人 |
| 受入れ期間 ※長期コース | 2月 5日～ 3月 9日 (上記期間中で1人につき、3週間) | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) 1人 |
| 選考時の面接の 実施予定 | 短期 コース <input type="checkbox"/> 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし | 長期 コース <input type="checkbox"/> 予定あり <input checked="" type="checkbox"/> 予定なし | |
| 受入れ条件 | 基本的なパソコン操作(ワード・エクセル・パワーポイント等)ができること。 学術研究行政に関する専門的な知識や技術は必要ありません。 | | |
| 実習内容 | 【各系の業務補助】 ・大学共同利用機関、共同利用・共同研究拠点等に関する各種データの集計及び分析 ・集計、分析結果を用いた資料の作成 ・各種会議の資料準備及び傍聴、会場設営の補助 【各系の課題への施策提案】 ・今後の共同利用・共同研究体制の在り方について | | |
| 受入れ局課室紹介 | 【当課の主な業務】 ○大学共同利用機関及び国公立大学の共同利用・共同研究拠点に整備された施設・設備や貴重な資料・データなどを、研究者が個々の組織の枠を越えて共同で活用して研究を行う共同利用・共同研究を推進しています。 ○特に、高エネルギー加速器「Bファクトリー」や宇宙素粒子観測装置「スーパーカミオカンデ」など、学術研究の大規模プロジェクトによる研究成果は、ノーベル賞受賞に直接貢献しています。 ○内外の優秀な研究者を引き付ける研究拠点の形成や、国際的な環境下での若手研究者の育成などを図っています。 | | |
| 受入れ局課室からの 一言 | 当課の業務に関心があり、意欲のある方を歓迎します。 | | |
| 過去の参加者の声 | 視察に行かせて頂くことが多く、普通できないことを体験することができました。 | | |

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：課長補佐
氏名：井上 賢一

| | | | | |
|-----------------|---|---|---|---|
| 受入れ局課室名 | 研究振興局学術研究助成課 | | | |
| 募集学校種 ※短期コース | <input type="radio"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input type="radio"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small> |
| 募集学校種 ※長期コース | <input type="radio"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input type="radio"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small> |
| 受入れ期間 ※短期コース | 2月5日～ 3月2日 (上記期間中で、原則2週間) | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 1人 |
| 受入れ期間 ※長期コース | 2月5日～ 3月2日 (上記期間中で週2日)※応相談 | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 1人 |
| 選考時の面接の 実施予定 | 短期 コース 予定あり 予定なし | <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> | 長期 コース 予定あり 予定なし | <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> |
| 受入れ条件 | 特になし | | | |
| 実習内容 | 学術研究助成課では、大学等の研究者が自由に研究を行うために必要とする研究費(科学研究費助成事業(以下「科研費」)、世界水準の優れた研究活動を行う大学群を増強するための研究大学強化促進事業に関する業務など)を行っています。インターンシップ生には、これらの業務全般について体験できるよう計画を立てる予定です。 | | | |
| 受入れ局課室紹介 | 専門的な知識や技術は必要ありません。学術研究助成課の業務に関心があり、意欲のある積極的な方の参加を歓迎します。 【学術研究助成課の主な業務】 ○科研費の審査・交付に関する業務 ○科研費の広報に関する業務 ○科研費の制度改善に関する業務 ○独立行政法人日本学術振興会が審査・交付を行う科研費に関する指導・助言等に関する業務 ○研究大学強化促進事業に関する審査・交付に関する業務 など | | | |
| 受入れ局課室からの 一言 | 大学院生、大学生いずれも可能です。 | | | |
| 過去の参加者の声 | 他の課や施設見学にも参加できるよう、取り計らっていただいた。 気軽な相談にも乗っていただいた。 | | | |

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：研究振興戦略官付専門職

氏名：加賀 俊策

| | | | | |
|-----------------|---|--|---|---|
| 受入れ局課室名 | 研究振興局研究振興戦略官付 | | | |
| 募集学校種 ※短期コース | <input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない |
| | (○がマークされている部分が希望学校種となります) | | | |
| 募集学校種 ※長期コース | <input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない |
| | (○がマークされている部分が希望学校種となります) | | | |
| 受入れ期間 ※短期コース | 2月9日～ 3月5日 (上記期間中で1人につき、原則2週間) | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 1人 |
| 受入れ期間 ※長期コース | 2月9日～ 3月5日 (上記期間中で1人につき、3週間) | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 1人 |
| 選考時の面接の 実施予定 | 短期 コース 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/> | 長期 コース 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| 受入れ条件 | ライフサイエンス研究の振興に係る文部科学行政について、意欲を持って学びたいという意志がある方。 | | | |
| 実習内容 | <p>以下の業務を通じ、ライフサイエンス分野の研究振興の在り方に関する調査、分析等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイエンス研究に関わる会議等の傍聴 ・委員会等の会議運営補助 ・その他一般事務等 <p>※具体的な実習内容は、実習生と相談の上、決定する。</p> | | | |
| 受入れ局課室紹介 | <p>研究振興戦略官付では、がんに関する画期的な治療法や診断法の実用化に向けた研究開発、最先端の医療機器である重粒子線がん治療装置に係る研究開発を推進するとともに、感染症に関し、アジア・アフリカの海外拠点を活用した疫学研究、革新的な診断・治療法等の研究開発を推進しています。また、ライフサイエンスに関する国際拠出金事業にも参画し、国境を越えた革新的な共同研究への支援や若手研究者に対する国際的研究機会の提供などを行っています。</p> | | | |
| 受入れ局課室からの 一言 | 文部科学省での業務体験や職員との交流を通じて、役所の業務内容や、職場の雰囲気等について理解を深めていただき、今後の進路を考える際の参考となれば嬉しく思います。 | | | |

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：情報科学技術推進官
氏名：石田 泳志

| | | | | |
|---------------------------|--|---|---|---|
| 受入れ局課室名 | 研究振興局参事官(情報担当)付 | | | |
| 募集学校種 ※短期コース | <input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない |
| (○がマークされている部分が希望学校種となります) | | | | |
| 募集学校種 ※長期コース | <input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない |
| (○がマークされている部分が希望学校種となります) | | | | |
| 受入れ期間 ※短期コース | 2月5日 ~ 3月9日 (上記期間中で1人につき、原則2週間) | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 1人 |
| 受入れ期間 ※長期コース | | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 0人 |
| 選考時の面接の 実施予定 | 短期 コース <input type="checkbox"/> 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし | <input type="checkbox"/> 長期 コース <input checked="" type="checkbox"/> 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし | | |
| 受入れ条件 | 基本的なパソコン操作(ワード・エクセル)ができること | | | |
| 実習内容 | <p>以下のような幅広い業務に従事していただくことを予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国民への情報発信業務(HP掲載等) ○予算の執行に関する業務 ○諸外国の人工知能技術・スーパーコンピュータの研究開発の動向の調査 ○科学技術・学術審議会等の会議運営補助 ○職員や有識者とのディスカッションによる政策立案体験 ○その他、施設見学等 <p>※具体的な実習内容は、実習生と相談の上決定します。</p> | | | |
| 受入れ局課室紹介 | <p>参事官(情報担当)付では、我が国の情報科学技術分野における研究開発に係る様々な業務を実施しています。具体的には、スーパーコンピュータ「京(けい)」に関する業務を始め、「人工知能(AI)」「IoT」「ビッグデータ」「サイバーセキュリティ」に係る施策の企画・立案、大学・研究機関等を接続する学術情報ネットワーク「SINET」の整備、科学技術情報流通連携・促進のための情報システム(科学技術情報提供サービス「J-GLOBAL」や電子ジャーナルプラットフォーム「J-STAGE」等)の整備等、その取組は多岐にわたっています。</p> <p>情報科学技術分野は、特に技術革新のスピードが速い分野であり、政府としても「Society5.0」の実現に向けて、関係省庁が連携し取組を進めているところです。時には第一線で活躍されている最先端の研究者とも議論しながら、推進施策をダイナミックに展開していく必要があります。インターンシップにおいても、その一端を体験していただきたいと思います。</p> | | | |
| 受入れ局課室からの 一言 | 専門的な知識や技術は必要ありません。意欲ある皆さんの御参加をお待ちしています。 | | | |
| 過去の参加者の声 | 私が質問を行うと、いつでも丁寧に答えてくださった。また、できるだけ私の実習を充実させるため尽力いただいた。 | | | |

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：係長
氏名：田村泰嗣

| | | | | |
|-----------------|--|---|---|---|
| 受入れ局課室名 | 研究振興局 参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)付 | | | |
| 募集学校種 ※短期コース | <input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない |
| | (○がマークされている部分が希望学校種となります) | | | |
| 募集学校種 ※長期コース | <input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 | <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校 | <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 | <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない |
| | (○がマークされている部分が希望学校種となります) | | | |
| 受入れ期間 ※短期コース | 2月12日～3月9日 (上記期間中で1人につき、原則2週間) | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 1人 |
| 受入れ期間 ※長期コース | 月 日～ 月 日 (上記期間中で1人につき、3週間) | | 受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) | 0人 |
| 選考時の面接の 実施予定 | 短期 コース | 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/> | 長期 コース | 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input type="checkbox"/> |
| 受入れ条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識や技術がある方が望ましい ・前向きなこと | | | |
| 実習内容 | <p>具体的な実習内容については、参加者の方の希望を考慮して計画します。以下の「受入局課室紹介」の欄に記載した業務を参考にいただき、興味・関心がある業務について、学生・生徒調査票の志望理由もしくは希望業務欄に記してください。</p> | | | |
| 受入れ局課室紹介 | <p>参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)付では、ナノテクノロジー・物質・材料科学分野の政策立案・研究振興を行っています。具体的には、下記の様な業務を行っています。</p> <p>①我が国の資源制約問題を解決するため、レアメタルやレアアースといった希少元素を用いない新しい材料の創製を目指した「元素戦略プロジェクト」に関する業務 ②大学や研究機関が有する最先端の研究設備を産学官の利用者に共用する「ナノテクノロジープラットフォーム」に関する業務 ③物質・材料研究の中核的機関である特定国立研究開発法人物質・材料研究機構の所管課としての業務</p> | | | |
| 受入れ局課室からの 一言 | 前向きな姿勢で取り組む方の参加を歓迎します。 | | | |
| 過去の参加者の声 | <p>“インターン”と聞くと、就活の準備や就活そのもの、というイメージだったが、文科省のインターンは、自分の専門についての学びを深めるため来ている学生も多かった。</p> <p>行政という非常に広い視点から自身の専門分野について学べたことで、自身の将来に対する選択肢が広がり、それぞれのメリットや場合によってはデメリットを感じる事が出来た。違う専門を持つインターン生と交流することで、自身の専門の立ち位置や意外な重要性に気付くことが出来た。</p> | | | |